開館40周年記念Ⅰ　日本・デンマーク外交関係樹立150周年

ちひろと世界の絵本画家コレクション

# わたしのアンデルセン

展示会期 **2017年3月1日（水）～5月14日（日）**

主催：ちひろ美術館　後援：デンマーク大使館

人の世の夢や真実を美しい童話につむぎ、創作童話の祖として知られるハンス・クリスチャン・アンデルセン。時代も国境も超えて読み継がれるその童話は、多くの画家たちにインスピレーションを与え、さまざまに描かれてきました。
いわさきちひろは、日本でも有数のアンデルセンの描き手です。登場人物や異国の情景に工夫を凝らして描いたその作品群は、現存するものだけでも約850点を数え、子どもを描いた絵とはまた異なる画業の一群を形づくっています。
本展では、ちひろがアンデルセンの童話や自伝に描いた作品のほか、初山滋やクヴィエタ・パツォウスカー等国内外の絵本画家たちが描いた作品も、当館のコレクションを中心に紹介します。汲めどもつきぬイマジネーションの泉・アンデルセンの世界をご覧ください。

百年もの年代の差をこえて、
わたしの心に、かわらないうつくしさを
なげかけてくれるアンデルセン……

いわさきちひろ　1964年

1. いわさきちひろ　家並みの前のアンデルセン
『わたしの少年のころ　アンデルセンものがたり』（実業之日本社）より　1967年

2. いわさきちひろ　マッチをともす少女
『マッチうりの少女』（偕成社）より　1964年

3. いわさきちひろ　道で踊るカーレン（部分）
『あかいくつ』（偕成社）より　1968年

## 展示室 1　ちひろのアンデルセン

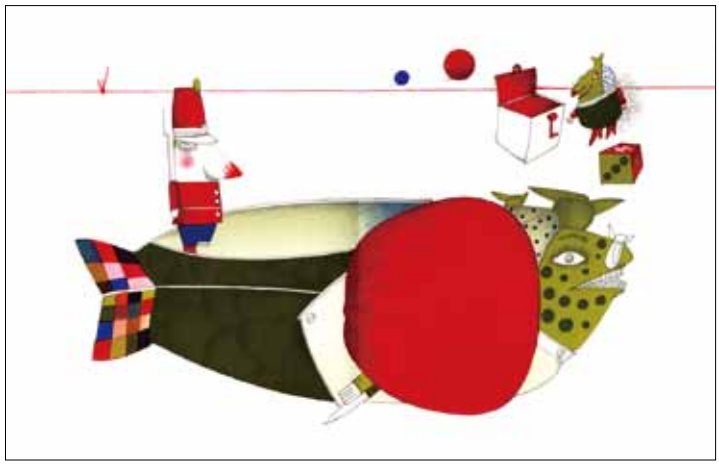
ちひろは駆け出しだった1947年ごろ、紙芝居『お母さんの話』の依頼をうけたのをきっかけに、画家として自立しました。以後、紙芝居や童話集、絵本などに毎年のようにアンデルセンの童話を描き、わかっているものだけでも34編の童話のほか、「絵のない絵本」の全33編に絵を描いています。「マッチ売りの少女」や「親指姫」「人魚姫」など、何度も繰り返し描いた童話もありました。これらの作品群からは、ちひろの初期から晩年までの画風の変遷や、物語の解釈の深まりもみることができます。

4. いわさきちひろ　花のなかのおやゆび姫
『おはなしアンデルセン』（童心社）より　1965年

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京
http://www.chihiro.jp/
TEL.03-3995-0772（業務用）
お問い合せは、広報担当：北村・中平・武石まで

## 展示室 2 世界の絵本画家のアンデルセン

160言語に翻訳されているアンデルセンの童話は、世界各国の画家たちによって描かれてきました。日本でも明治期に紹介されて以来、大正、昭和期にかけて広く愛され、多くの童話集や絵本が出版されました。ここでは当館の絵本原画コレクションのなかから、日本や世界の絵本画家たちが、多種多様な解釈と表現でアンデルセン童話を描いた作品を紹介します。



5. クヴィエタ・パツォウスカー（チェコ）『すずの兵隊』より　1985年

6. 初山滋（日本）『にんぎょひめ』より　1967年

7. カーリナ・カイラ（フィンランド）『おやゆびひめ』より　1988年

8. ヤナ・キセロヴァー＝シテコヴァー（スロヴァキア）『おやゆびひめ』より　2001年

## 展示室 3 ちひろ・アンデルセンを訪ねて

まだ海外旅行の珍しかった1966年に、ちひろはヨーロッパを旅し、アンデルセンの生まれた地・デンマークのオーデンセも訪れています。「なにからなにまで見なければ描けないなんてことはないけれど、じかにこの目で見、ふれることのできる感動がどんなにわたくしを力強く仕事に立ち向かっていけるようにするかということをかみしめていました。」とちひろは語っています。ここでは、オーデンセのスケッチと、その後に描かれた『絵のない絵本』『わたしの少年のころ　アンデルセンものがたり』を展示します。

9. いわさきちひろ　オーデンセ　アンデルセンの家　1966年3月30日

**ハンス・クリスチャン・アンデルセン　Hans Christian Andersen**
(1805～1875)
デンマークの詩人・作家。オーデンセの貧しい靴職人の家に生まれるが、苦学の末、30歳で発表した小説「即興詩人」で認められ、以後多くの詩や戯曲などを手掛けた。生涯に150篇あまりの童話を残し、近代児童文学のはじまりに位置する童話作家といわれる。

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京
http://www.chihiro.jp/
TEL.03-3995-0772（業務用）
お問い合せは、広報担当：北村・中平・武石まで

10. イブ・スパング・オルセン　『アンデルセンの童話』（福音館書店）より　1992年
© Ib Spang Olsen by Medialynx Japan

開館40周年記念Ⅰ　日本・デンマーク外交関係樹立150周年

# デンマークの心
# イブ・スパング・オルセンの絵本

展示会期 **2017年3月1日（水）～5月14日（日）**

主催：ちひろ美術館、メディアリンクス・ジャパン　後援：デンマーク大使館、こどもの本WAVE、絵本学会、（公社）全国学校図書館協議会、（一社）日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、（公社）日本図書館協会、杉並区教育委員会、中野区、西東京市教育委員会、練馬区　協賛：瞬報社写真印刷株式会社

2017年の日本・デンマーク国交樹立150周年を記念して、デンマークを代表する世界的な画家・イラストレーター、イブ・スパング・オルセンの展覧会を開催します。オルセンは児童書や小説のイラストレーションを中心に、生涯で600冊近い本に絵を描いてきました。2012年の1月に90歳で亡くなり、デンマーク国内で回顧展が開かれたオルセンの多彩な作品世界を、日本の皆さまにも知っていただきたいという遺族の熱意により、当展覧会が企画されました。

デンマークでは、誰もがオルセンの絵を使った本でABCを学んでいると言われるほど身近な存在で、本の装丁やイラストレーション、アニメーション、ポスターなど、グラフィックデザインの分野で幅広い活躍を見せています。オルセンは、絵本のなかで自身が生まれ育った街をはじめ、デンマークの景観や自然を魅力的に描いています。卓越した技量と芸術性を併せ持つ、そのいきいきとした絵本は、国境を超えて愛され、読み継がれています。日本での初公開作品の数々をお楽しみください。

## イブ・スパング・オルセン　Ib Spang Olsen (1921-2012)

デンマークに生まれる。教職に就きながら、王立美術大学でグラフィックアートを学ぶ。子どもの本のイラストレーションのほか、アニメーションや陶器のデザインなど、活動の幅は広い。1972年度国際アンデルセン賞画家賞、1976年インダストリアル・グラフィックデザイン賞 などを受賞。絵本に『つきのぼうや』『はしれちいさいきかんしゃ』（福音館書店）『アンデルセンの自伝　わたしのちいさな物語』（あすなろ書房）『かぜ』『あめ』（亜紀書房）『ぼくのあかいボール』（BL出版）『ネコの住むまち』（メディアリンクス・ジャパン）など。2012年没。

11. イブ・スパング・オルセン　『つきのぼうや』（福音館書店）より　1975年
© Ib Spang Olsen by Medialynx Japan

## 展示の見どころ

### ①貴重なオルセンの絵本原画をまとめて紹介！

オルセンの絵本『ぬまばばさまのさけづくり』や、『Halfdans ABC』などは世代を超えて多くのデンマーク人に読み継がれてきました。1960年代から近年の絵本まで、その原画を時代を追って紹介します。

### ②オルセンとアンデルセン

オルセンは、1972年にデンマーク人としてはじめて国際アンデルセン賞を受賞した画家です。彼は、受賞の挨拶で、「アンデルセンは、私にとって、一つの宇宙である」と語りました。アンデルセンと同じ言葉、風土のなかで生活したオルセンにとって、アンデルセンは他のどの国の画家にとってよりも身近かつ偉大な存在だったといえるでしょう。

### ③デンマークという国

北欧の小さな王国デンマークに古くから伝わる昔話や伝説。趣きのあるコペンハーゲンの街並み。生まれ育った家や部屋……。オルセンの絵本やポスターには、デンマークの物語や風物が描かれています。オルセンの作品を通して、デンマークを身近に感じてみてください。

12. イブ・スパング・オルセン　『キオスクおばさんのひみつ』（文化出版局）より
1979年　© Ib Spang Olsen by Medialynx Japan

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京
http://www.chihiro.jp/
TEL.03-3995-0772（業務用）
お問い合せは、広報担当：北村・中平・武石まで

EVENT INFORMAION　CHIHIRO ART MUSEUM TOKYO

＊詳細は、ちひろ美術館ホームページでご案内します。イベント参加費の他、別途入館料が必要です（高校生以下は入館料無料）。　定員、参加費が記載されていないものは、参加自由、無料です。

## 展示 関連イベント

### ●イブ・スパング・オルセンの絵本展ギャラリートーク

生前のオルセンと35年の交流のある講師が、
展覧会の見どころをお話しします。

**3/11**（土）14:00~15:00

講師：穂積保（株式会社メディアリンクス・ジャパン代表取締役社長）

参加費：無料　参加自由

イブ・スパング・オルセン　『はしれちいさいきかんしゃ』（福音館書店）より　1979年
© Ib Spang Olsen by Medialynx Japan

### ●講演会「北欧の子どもの本」

アンデルセンの生まれた国・デンマークを中心に、北欧の子どもの本の歴史や最新の動向などをお話しします。

**4/15**（土）15:00~16:30

講師：福井信子（東海大学文学部北欧学科教授）

定員：60名　　参加費：700円　＊要申し込み　3/15（水）受付開始

### ●わらべうたあそび

声を出して歌ったり、体を動かしたりしながら、親子で楽しく参加できます。

**4/1**（土）11:00~11:40

講師：服部雅子（西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰）
対象：0～2歳までの乳幼児と保護者　定員：15組30名
＊要申し込み　3/1（水）受付開始

## 参加自由・無料のイベント

### ●松本猛ギャラリートーク

ちひろの息子である松本猛が、作品にまつわるエピソードなどを、お話します。

**3/12**（日）14:00~

講師：松本猛（絵本学会会長・ちひろ美術館常任顧問）

### ●ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00~

### ●えほんのじかん

協力：ねりま子どもと本ネットワーク
毎月第2・4土曜日11:00~

### ●ガーデントーク
### ちひろの庭の花めぐり

「ちひろの庭」や展示室で、ちひろが愛した草花などのエピソードを紹介します。

**3/26**（日）
14:00~14:30

## ＜次回展示予定＞ 2017年5月19日（金）～8月20日（日）　開館40周年記念Ⅱ

＜企画展＞高畑勲がつくるちひろ展

### ようこそ！ちひろの絵のなかへ

古今東西の美術や文学に通じ、アニメーションづくりの第一線で活躍してきた高畑勲は、ちひろを「子どもの尊厳をとらえた稀有な画家」と評し、その作品から創作のインスピレーションを得てきたといいます。高畑の審美眼を通して、ちひろの絵の魅力を再発見し、これまでにない演出でちひろの絵の世界を‘体感’していただきます。

いわさきちひろ　帽子の少女　1970年

＜企画展＞奈良美智がつくる

### 茂田井武展　夢の旅人

「茂田井武の美意識は生活のなかに息づき、それゆえ逆説的に崇高だ。彼の絵のなかには西洋も東洋もなく、ただ純粋な魂だけがある。」と語るアーティスト・奈良美智が、茂田井の展覧会をつくります。パリ放浪のなかで描いた画帳「Parisの破片」や絵物語「夢の絵本」など、時代を超えて奈良の心に響く、茂田井武の作品をご覧ください。

茂田井武　絵物語「夢の絵本」より
1948年

＊展覧会名・会期・内容等は、予告なく変更する場合がございます。

【ハッシュタグ#chihirotをつけて情報をシェアしましょう！】
InstagramやtwitterでのハッシュタグをつけてIchihirotの写真は、公式サイトでご覧いただくことが可能です。（展示室での撮影はご遠慮ください）

●展示会期…2017年3月1日（水）～5月14日（日）
●開館時間…10:00～17:00（入館は閉館の30分前まで）
●休館日……月曜日（祝休日は開館、翌平日休館。※4/12（水）は臨時休館。GW期間は無休）
●入館料……大人800円／高校生以下無料
グループ(有料入館者10名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は700円／障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料／視覚障害のある方は無料／年間パスポート2500円
●交通……◎西武新宿線上井草駅下車徒歩7分
◎ＪＲ中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分
◎西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)上井草駅入口下車徒歩5分
◎駐車場あり（乗用車3台・身障者用1台）

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
ちひろ美術館・東京
http://www.chihiro.jp/
お問い合せは、広報担当：北村・中平・武石まで
〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2　テレホンガイド 03-3995-3001　03-3995-0612（代表）　FAX 03-3995-0680